

令和 6 年度 第 1 回岡山県道路交通渋滞対策部会
議事概要

1. 開催日 令和 6 年 8 月 2 8 日（水）

2. 開催方法 書面開催

3. 出席者（書面確認者）

〔委員〕※敬称略

佐々田 敬久	国土交通省中国地方整備局企画部	広域計画課長
中古 淳法	国土交通省中国地方整備局建政部	都市・住宅整備課長
亀岡 敬和	国土交通省中国地方整備局道路部	道路計画課長
安部 学	国土交通省中国地方整備局道路部	地域道路課長
伊藤 等	国土交通省中国地方整備局道路部	交通対策課長
樋口 恒一郎	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所	所長（部会長）
宮地 誠	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所	計画課長
森山 秀治	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所	交通対策課長
大林 元	国土交通省中国運輸局交通政策部	環境・物流課長
吉田 奈美	国土交通省中国運輸局岡山運輸支局	首席運輸企画専門官
竹内 毅	岡山県土木部	道路建設課長（副部会長）
中西 輝	岡山県土木部	道路整備課長
逸見 浩二	岡山県土木部	都市計画課長
森本 隆弘	岡山県警察本部交通部	交通規制課長 (代理)交通管制センター長
難波 雅彦	岡山市都市整備局	次長
是友 修二	岡山市都市整備局	道路部長
下村 隆之	倉敷市建設局	都市計画部長
藤原 貢	倉敷市建設局	土木部長
阪本 良夫	西日本高速道路株式会社中国支社総務企画部	企画調整課長
前田 泰男	本州四国連絡高速道路株式会社坂出管理センター	計画課長
宮長 勇作	一般社団法人岡山県トラック協会	専務理事
岡田 和史	一般社団法人岡山県バス協会	専務理事
神宝 博	一般社団法人岡山県タクシー協会	専務理事

4. 議事

1. 主要渋滞箇所のフォローアップ
 - 1.1 対策実施状況
 - 1.2 新たな着眼点 主要渋滞箇所の見直し
 - 1.3 主要渋滞箇所における対策の進捗状況
 - 1.3.1 ハード対策
 - 1.3.2 ソフト対策
2. データによる観光地の交通状況の把握（情報提供）
【参考】渋滞対策部会の検討経緯

5. 議事概要

1. 主要渋滞箇所のフォローアップ
 - 1.1 対策実施状況
主要渋滞箇所のこれまでの対策状況および令和6年度対策実施箇所を報告。
 - 1.2 新たな着眼点 主要渋滞箇所の見直し
昨年度に承認された主要渋滞箇所解除フローを基に該当箇所を抽出。新たに速度低下要因の判定基準（案）を提示し、該当する箇所の合同現地地点検を行うこととした。
該当する箇所について、各道路管理者と合同現地地点検を行った結果、現地の混雑状況を鑑み、引き続き経過観察としたことを報告。
今回提示した速度低下要因の判定基準（案）および該当する箇所について引き続き経過観察とした結果について、議論を行った。 意見照会の結果、了承いただいた。

<委員からのご意見>

- ・隣接交差点間の距離は、速度低下の要因としての一面があるが、当該計算は車両の「織り込み」に対する目安であり、特定解除の判断には、速度低下に大きく係わる従道路の交通形態（車両の動線）を考慮することも一つの案と考えられる。従って、隣接交差点間の距離を判断項目にすると同時に、従道路に流入する車両の織り込み交通量を判断基準に加える方法もあると考えられる。

⇒（事務局回答）

ご指摘の通り、速度低下は織り込み交通量に起因すると想定される。

しかし、各箇所の織り込み交通量を確認するには交通量調査が必要となり、複数箇所の対応が困難である。そのため、速度低下要因は定量的に判断できる項目で設定を行い、従道路の交通状況については現地確認の際に確認を行うこととしています。

1.3 主要渋滞箇所における対策の進捗状況

1.3.1 ハード対策

今年度渋滞対策としてハード対策を行う箇所（一般国道 2 号伊部東交差点、一般国道 429 号老松西交差点、一般国道 250 号古京交差点）の対策実施状況について報告。

<委員からのご意見>

（一般国道 250 号古京交差点）

- ・改良効果に期待を寄せているが、「右折車両による後続車両の阻害」については丁字路で対向車が無い状態で右折車両が阻害要因とは考え難く、流量の問題ではないかと思われるが如何。

⇒（事務局回答）

古京町交差点の丁字路については、ご指摘のとおり現況東向車線の交通容量の不足（流量の問題）による後続車両の阻害が考えられるのでレーンの新設により交通容量確保を目指します。

- ・コロナ禍がひと段落し、通勤時間帯の交通量が増加しており、渋滞も多く発生している。一般国道 250 号原尾島交差点～古京～門田屋敷の渋滞は特に激しいと感じており、早期の対策をお願いしたい。

⇒（事務局回答）

一般国道 250 号原尾島交差点～古京～門田屋敷の渋滞については、原尾島交差点、門田屋敷交差点が主要渋滞箇所となっていることから、他事業の進捗状況を踏まえ検討していきます。

1.3.2 ソフト対策

岡山国道管内で実施しているソフト対策（スマート通勤おかやま、GOOD ROUTE、高松稲荷交差点の TDM、倉敷美観地区における渋滞対策、津島交差点周辺の TDM）の昨年度から本会議までの実施状況および実施結果、今後の対策方針について報告。

また、進め方について意見照会を行った。

<委員からのご意見>

（スマート通勤おかやま）

- ・不参加理由について、代替交通（公共交通等）手段がないという回答が最も多くなっているが、その中には、公共交通機関での通勤方法が不明な方も一定程度いると思われる。参加企業等において、公共交通機関での通勤方法について周知いただくことも有効と考える。

⇒（事務局回答）

ご指摘の通り、公共交通機関自体の周知も重要であると考えています。本年度から、新たにスマート通勤おかやまを実施するための手段として、公共交通マップやシェアサイクル（ももちやり等）の紹介について SNS 等を通じて取組の周知とともに情報発信していくことを想定しています。

また、参加企業に対して、公共交通マップや公共交通機関の時刻表などの配布も検討してまいりたい。

- ・有効な渋滞対策ではありますが、頻度や認知度などの課題があると考えます。
また、スマート通勤おかやまの参加者が、実施期間外もスマート通勤を継続するための取組を検討することも必要と考える。

⇒（事務局回答）

取組の認知度については、各種アンケートにて情報源等を把握し、より認知されやすい媒体での広報を行っていくことを考えています。また、頻度については実施期間外でのスマート通勤の実施も重要と考えているが、まずは、体験いただくことが重要と考え、実施日を設けさせて頂いています。

ご指摘のとおり、スマート通勤おかやまへの参加をきっかけとして期間外でもスマート通勤を実施していただくことは重要と考えており、今後、実行委員会で仕組みづくりを検討してまいりたい。

(倉敷美観地区における渋滞対策)

- ・倉敷市役所臨時駐車場の周知や、市役所から美観地区へのアクセス強化など、引き続き国と連携して進めさせていただきたい。

⇒ (事務局回答)

倉敷市と役割を協議しながら、引き続き連携して進めてまいりたい。

2. データによる観光地の交通状況の把握 (情報提供)

令和6年7月10日に国土交通省道路局企画課より公表された「令和6年ゴールデンウィークの一般道路の交通状況」における岡山県内の状況について提示

岡山県内では、国道482号(真庭市)および県道96号等(和気町)において特に混雑が見られたエリアであったことを報告。

<委員からのご意見>

- ・コロナの影響が小さくなり、観光需要も増加している。インバウンドによるレンタカー利用も増加しており、国際線の復活により今後更なる増加が見込まれる。全体のレンタカー利用からすると比率は小さく影響度合いは未知数ではあるが、注視が必要と思われる。

⇒ (事務局回答)

承知した。インバウンドや観光需要の増加によるオーバーツーリズムが問題となっている中で、上述のエリアに限らず、今後必要な対策を検討していく場合参考にさせていただく。